

国道475号 東海環状自動車道(西回り区間) 事業調整会議(第2回)

説明資料

令和6年12月20日

中日本高速道路株式会社 名古屋支社
国土交通省 中部地方整備局

<目次>

1. 現在の進捗状況について
2. 工事における課題と対応
3. 今後の見通し

1. 現在の進捗状況について

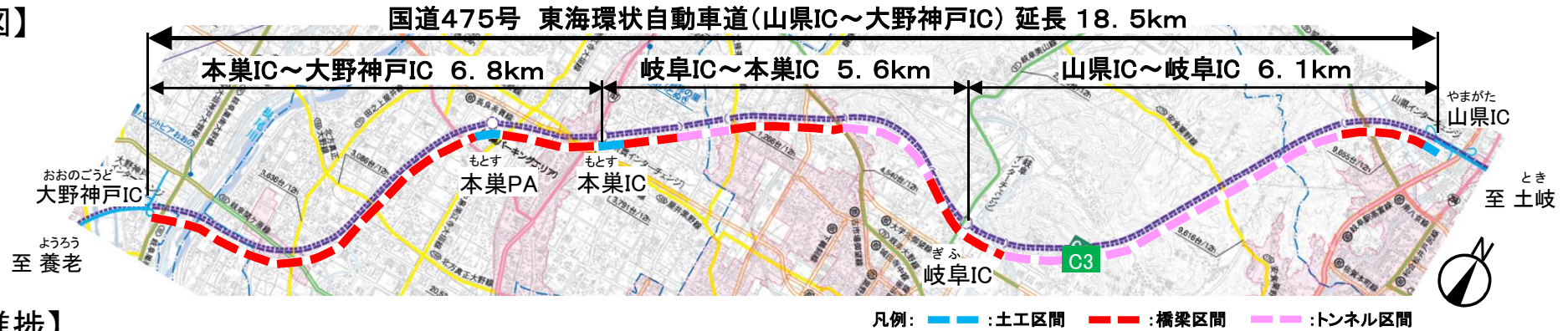
■西回り全体

- 東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重3県の都市を環状に連絡し、東名・名神高速道路等の放射状幹線道路と接続し広域的なネットワークを形成する延長153kmの高規格道路
- 現在、残る未開通3区間において、国・NEXCO中日本により共同で事業推進しているところ



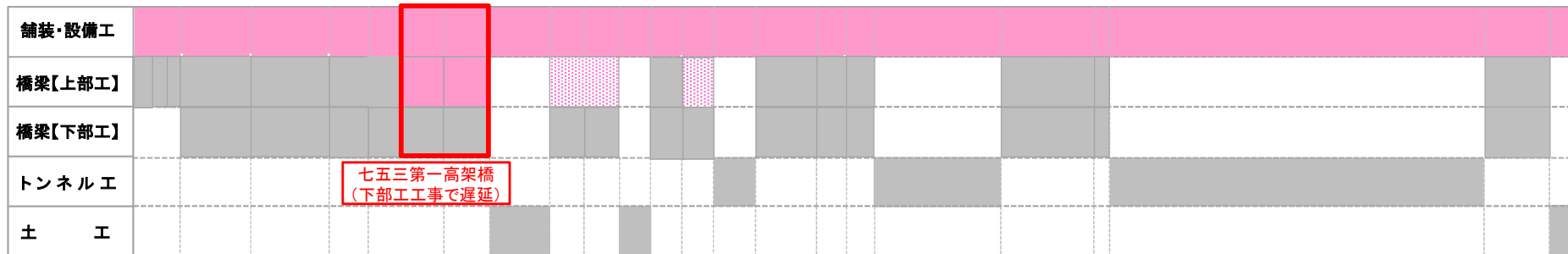
1. 現在の進捗状況について(山県IC～大野神戸IC)

【位置図】



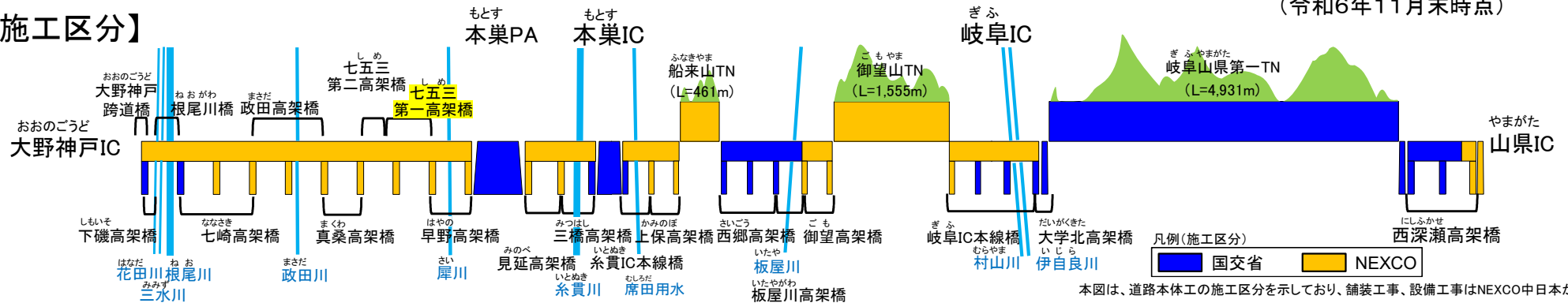
【事業進捗】

- 平成26年度より用地取得開始。用地取得率は現在100%(令和6年11月末時点)
- 山県IC～岐阜ICについては、舗装工事、設備工事を実施中
- 岐阜IC～本巢ICについては、橋梁上部工事、舗装工事、設備工事を実施中
- 本巢IC～大野神戸ICについては、橋梁上部工事、舗装工事、設備工事を実施中
- 開通に向けた舗装工事、設備工事は全て契約済



凡 例	
	完成
	工事中
	年内完成予定

【施工区分】



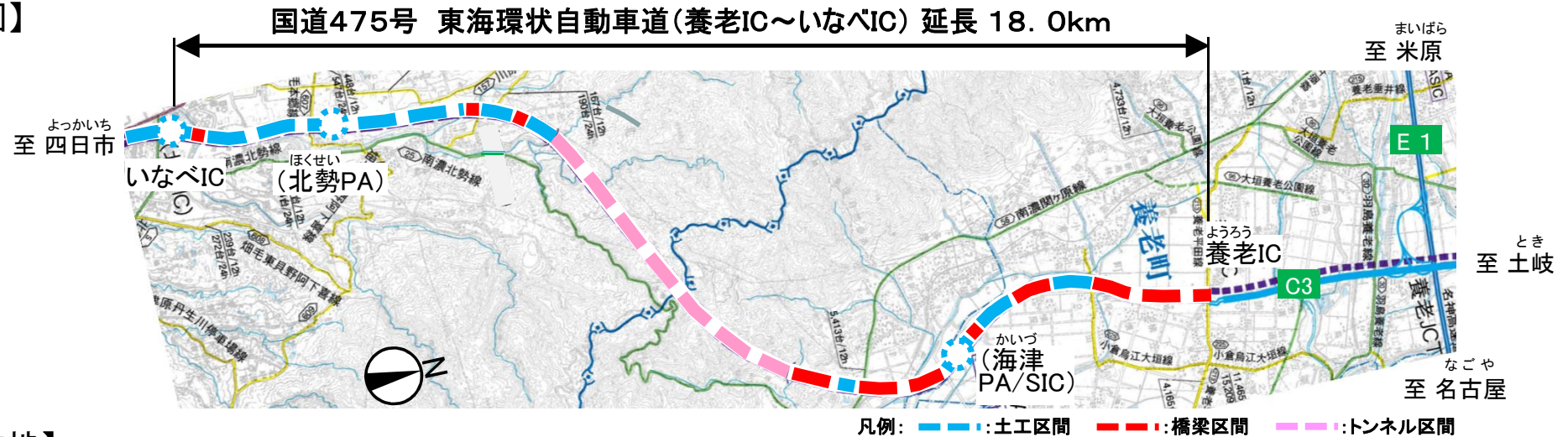
本図は、道路本体工の施工区分を示しており、舗装工事、設備工事はNEXCO中日本が実施

1. 現在の進捗状況について(山県IC～大野神戸IC)



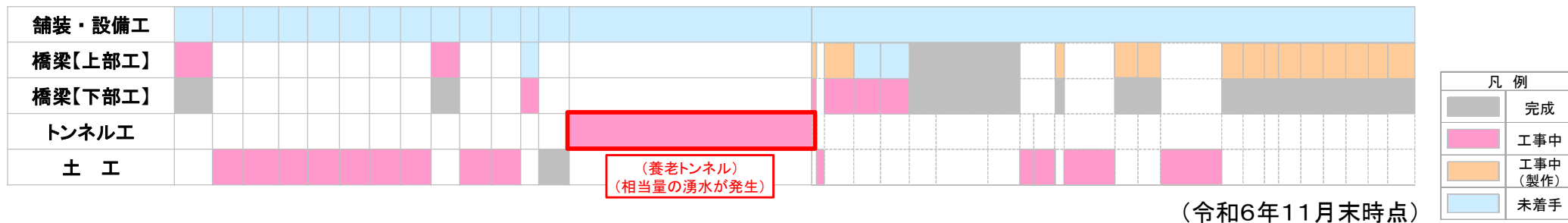
1. 現在の進捗状況について(養老IC～いなべIC)

【位置図】

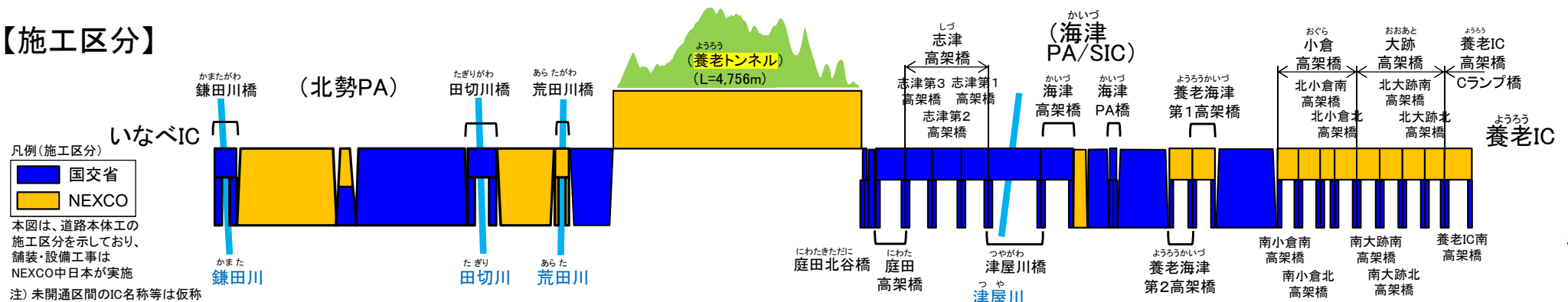


【事業進捗】

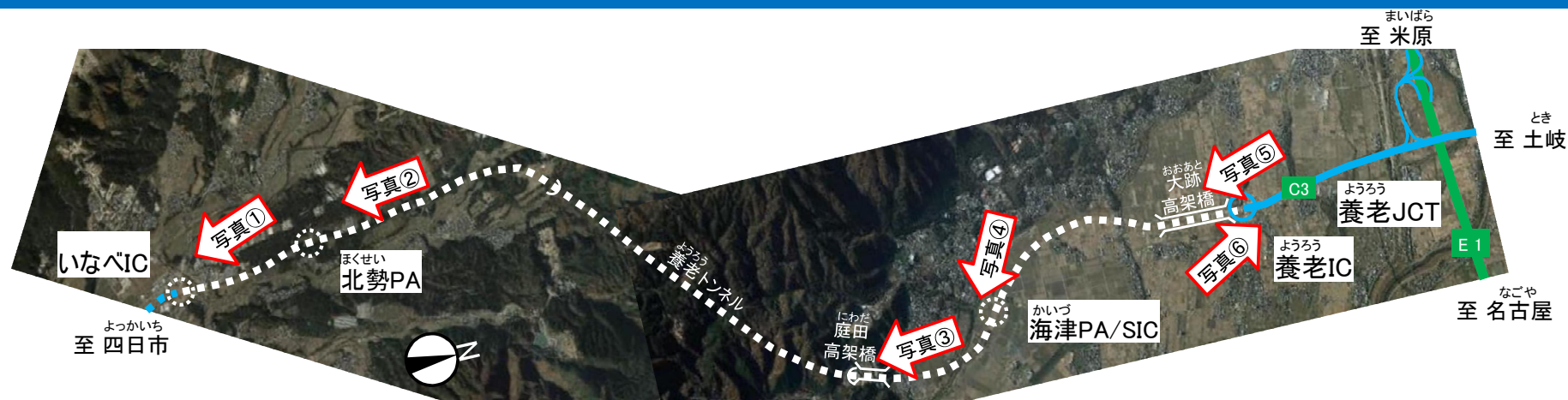
- 平成25年度より用地取得開始。用地取得率は現在99%(令和6年11月末時点)
- 養老IC～いなべICについては、トンネル工事、橋梁上部工事・下部工事、土工工事を実施中



【施工区分】



1. 現在の進捗状況について(養老IC～いなべIC)



注) 未開通区間のIC名称等は仮称
※写真は令和6年11月末時点

1. 現在の進捗状況について(いなべIC～大安IC)



※写真は令和6年11月末時点

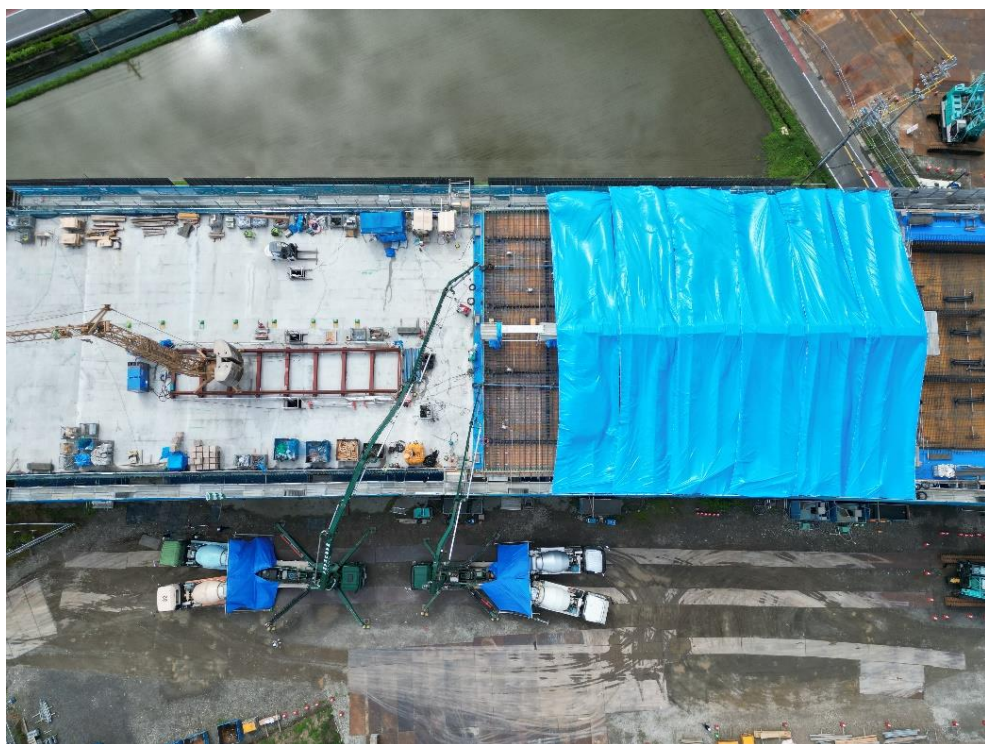
2. 工事における課題と対応(本巢IC～大野神戸IC)

■七五三第一高架橋 工程短縮策の実施状況

○一日も早い工事完成に向け工程短縮策を実施中

工程短縮策

- ・天候の影響を受けにくい施工方法(雨よけ等の設置)の実施
- ・作業人員、作業機械の増強



雨よけ(テント)の設置と作業状況



作業機械の増強

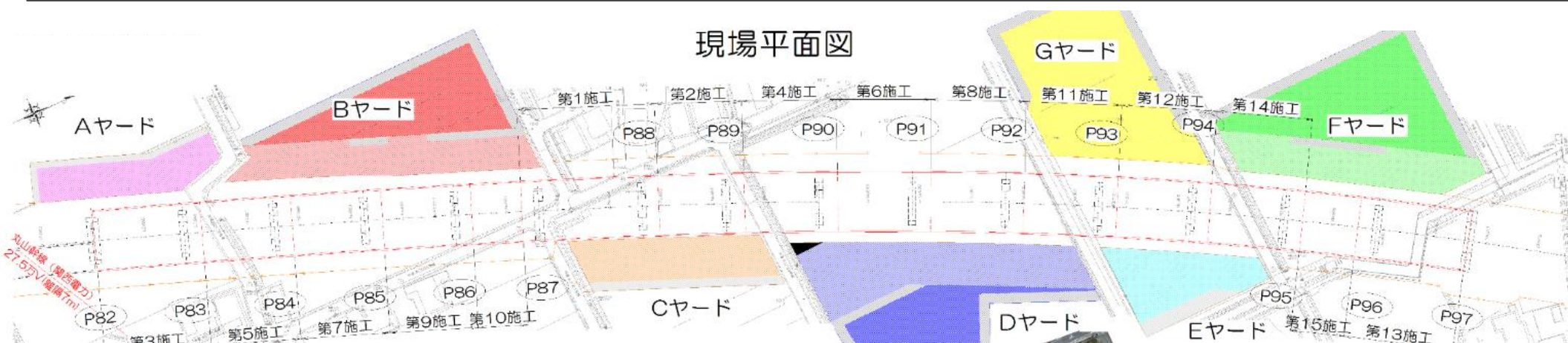
2. 工事における課題と対応(本巣IC～大野神戸IC)

■七五三第一高架橋の進捗状況(令和6年11月末時点)

○橋梁下部工はすべて完成済

○橋梁上部工は、P82～P94は完成、P94～P97は工事中

⇒計画よりも前倒して工事が進捗しており、本巣IC～大野神戸ICについては、令和7年夏頃には工事完成する見込み



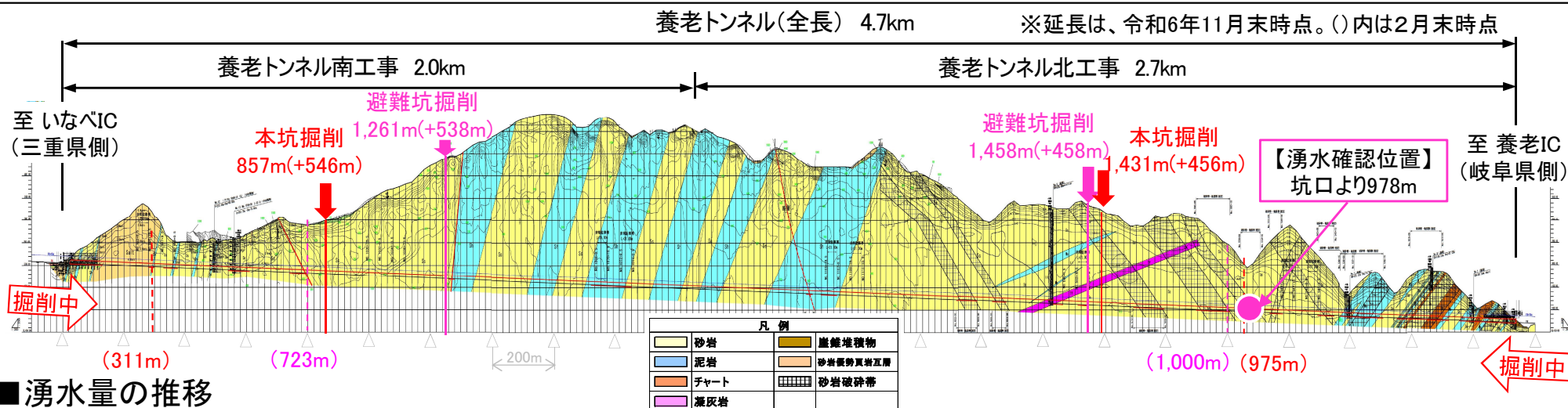
上部工完成(P82～P94)

上部工工事中(P94～P97)

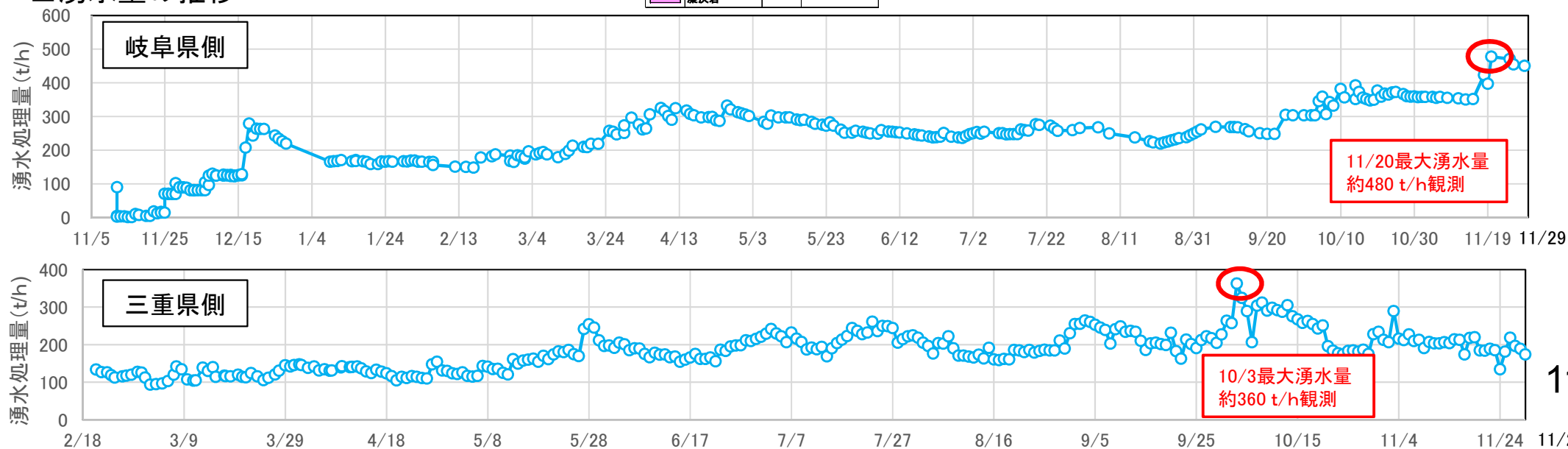
2. 工事における課題と対応(養老IC～いなべIC)

■「養老トンネル」における湧水の発生状況

- 岐阜県側から掘削している避難坑において、R5年11月に坑口から978m地点で湧水が発生した以降、継続的に湧水が発生している状況。
(三重県側の掘削工事も同様の傾向)



■湧水量の推移



2. 工事における課題と対応(養老IC～いなべIC)

■「養老トンネル」でこれまでに実施している湧水対策

○トンネル施工技術検討会での意見を踏まえ、湧水に対する水抜きボーリングや注入工などの補助工法を追加し、安全を最優先に慎重に工事を実施



＜水抜きボーリング＞



＜注入工（地山改良工）＞



＜鏡ボルト＞



＜濁水処理設備の増強＞

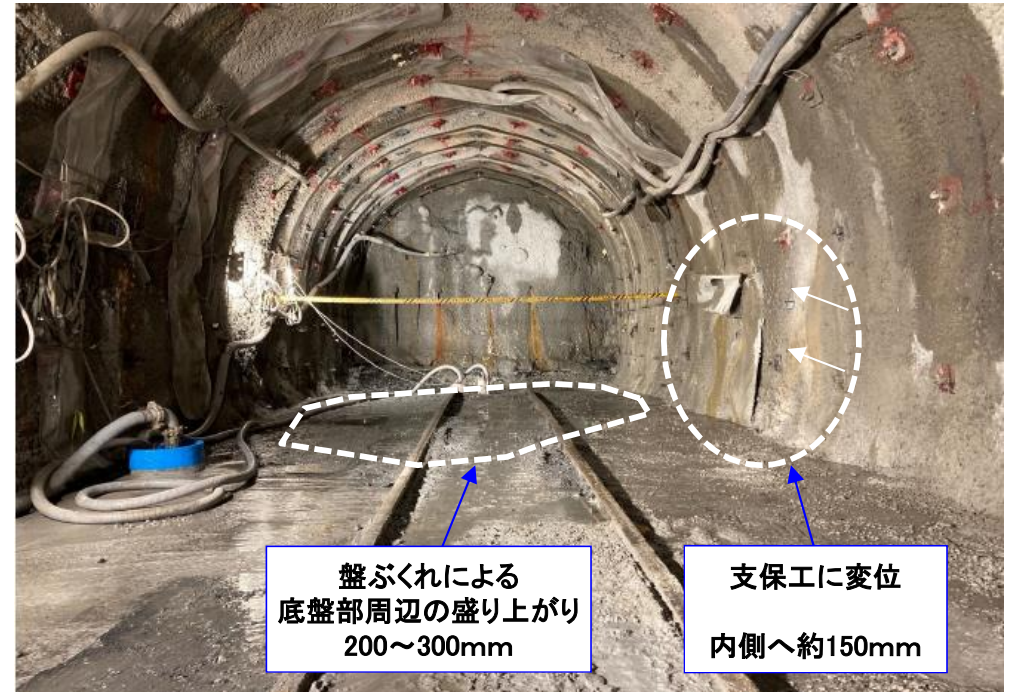
2. 工事における課題と対応(養老IC～いなべIC)

■「養老トンネル」における地盤変状の状況

- 岐阜県側から掘削している避難坑において、R6年10月に坑口から1,450m地点において、地中の高い水圧・土圧の影響により、路面の盤膨れなどの地盤変状が発生。
- 養老山地は地下構造物の施工実績が乏しく地層構成の知見が少なく、また先行している避難坑の事象等を踏まえると、今後の地層構成の予測は難しい。常にそのリスクに対応しながらの施工が必要。
- R6年12月には岐阜県側の湧水量が一時約600t/hとなり、避難坑掘削を一時停止中(12月9日～)。



高い土圧に耐えるために切ばり(横方向の鋼材)を設置



盤ぶくれによる
底盤部周辺の盛り上がり
200～300mm

支保工に変位
内側へ約150mm

アーチ支保に一部変形

- 上記の追加対策によって工事に時間を要している。
- 今後生じる、湧水や地質の確実な予測は難しい状況であり、工事工程が見通せない状況

3. 今後の見通し

○「山県IC～本巣IC」、「いなべIC～大安IC」は、令和6年度開通予定

○「本巣IC～大野神戸IC」は、開通が最大で半年程度遅れる可能性があったが、工程短縮策により、令和7年夏頃開通予定

○「養老IC～いなべIC」は、令和8年度開通予定としていたが開通時期の見直しが必要

- ・養老トンネルでは相当量の湧水が発生し続けており、これまでに専門家の意見を踏まえて水抜きボーリングや止水のための補助工法を追加して着実に工事が進められるよう努めてきたものの、掘削した区間で新たに盤膨れ等の地盤変状が発生しており、掘削に時間を要している。また、この先も、断層破碎帯を通過することが想定されるため、湧水や地盤変状リスクの可能性もあり工事完了時期が見通せない状況。
- ・見直し後の開通時期については、今後の工事進捗状況を踏まえて工程精査し、改めてお知らせする。

○引き続き、安全に十分配慮して着実に工事を実施

